

令和4年3月25日

各位

札幌自動車運輸株式会社  
代表取締役社長 上野聖二

## 弊社における DX 推進の取り組みについて

### 1. はじめに

弊社では、環境変化に柔軟に対応し、お客様がより満足されるサービスを提供するための成長戦略として、昨年12月にDX戦略を策定いたしました。今回、DX推進施策の実施計画が決定いたしましたので、ご報告いたします。

### 2. DX 推進施策の実施計画について

弊社DX戦略を達成するため、以下4つの施策を計画しております。

- ① データセンターへのシステム移設 【時期：令和4年度】  
ITシステム機器をデータセンターへ移設することにより、BCP対策を行います。
- ② データ活用のためのデジタルイノベーションの推進 【時期：令和4年度～5年度】  
勤務日報など手作業で行っている業務をIT技術の活用によりデジタル化することで、業務の効率化を図るとともに、データのデジタル化を促進します。
- ③ データ活用によるデジタルイノベーションの検討 【時期：令和4年度～5年度】  
デジタルイノベーション推進によりデジタル化したデータを活用し、弊社サービスに新たな価値を生む業務プロセスの改善とサービスの変革に関する検討を行います。
- ④ 新貨物管理システム構築とレガシーマイグレーション 【時期：令和6年度】  
業務プロセス改善とサービスの変革を実現する新しい貨物管理システムを構築し、レガシー化したシステムからの脱却を図ります。

### 3. 具体的な取り組み

DX 推進施策の実行にあたり、以下の取り組みを始めております。

- ・DX 推進を目的とする新プロジェクトチームの発足

DX 推進施策を具体的に検討、実行するための新たなプロジェクトチームを発足し、2月22日より活動を開始しました。本チームは管理職者、実務担当者、IT 担当者など計 28 名で構成されており、データ活用の促進を目的としたデジタイゼーション、デジタライゼーションを重点課題として取り組んでまいります。

### 4. 達成度の評価指標について

DX 推進施策の実施計画に基づく実績評価を毎月定期的の実施いたします。また、各施策の効果につきましては「実車率」、「稼働率」、「積載率」を評価指標として効果を測定いたします。